山彦シンポジウムの予稿スタイル

山彦 太郎（学部 4 年）[†1]

The Proceedings Format for Yamabico Symposium

Taro YAMABICO (4th Year of the Bachelor's Program) [‡1]

知能ロボット研究室 坪内グループ（TBU-G）

Abstract— This paper describes ... xxx

Keywords: AAA, BBB, CCC

1. はじめに

山彦シンポジウムでは、内部資料として非公開の予稿集を作成します。発表者は、A4 判の用紙に 2 ページから 8 ページの予稿原稿を作成してください。

2. 関連研究

【重要】学生の発表者は、必ず関連研究について記述してください。また、参考文献は必ず本文中で引用してください。

例：本稿は、文献 [1,2] を参考に作成しました。

3. 原稿スタイル

原稿を作成する際には、以下の条件を満たすようにお願いします。このサンプルファイルでは、学術会議用 LaTeX 2ε クラスファイル jsproceedings.cls [3] を使用しており、書式に関しては対策済みです。

1) 用紙サイズは A4 で、2 ページから 8 ページ。
2) 上下左右にそれぞれ 20 [mm] の余白を空ける。
（偶数ページ・奇数ページに関わらず中央寄せ）
3) ページ番号は製本作業時に追記するので、提出原稿にはページ番号を記載しない。
4) 先頭のページの右上には、2024 年度 第 2 回 山彦シンポジウム [2024/12/26–12/27 オンサイト開催] と記載する。

4. LaTeX 2ε による論文執筆

学術会議用 LaTeX 2ε クラスファイル jsproceedings.cls [3] の使用を推奨します。使用方法の詳細は、文献 [3] を参照してください。

論文タイトルを書く際には、jsproceedings.cls で定義した以下の独自のコマンドを用いてください。

- `\title{}` コマンド：日本語タイトル
- `\author{}` コマンド：日本語著者名
- `\authorrefmark{}` コマンド：著者の日本語所属マーク
- `\etitle{}` コマンド：英語タイトル
- `\eauthor{}` コマンド：英語著者名
- `\eauthorrefmark{}` コマンド：著者の英語所属マーク
- `\affiliation{}` コマンド：研究室の所属など
- `\abstract{}` コマンド：概要
- `\keywords{}` コマンド：キーワード
- `\authorreftext{}{}` コマンド：著者の日本語所属名
- `\eauthorreftext{}{}` コマンド：著者の英語所属名

5. 原稿の提出方法と期限

ウェブ上の予稿提出ページからアップロードをお願い致します。

2024 年度第 2 回山彦シンポジウム
`http://www.roboken.iit.tsukuba.ac.jp/event/Sympo/24-2/`

予稿の投稿〆切は 12 月 19 日（木）必着となっております。〆切直後に印刷作業を行ないますので、必ず間に合わせて頂くようにお願い致します。

6. 2024 年度第 2 回山彦シンポジウムについて

1) 日時
2024 年 12 月 26 日（木）〜12 月 27 日（金）
2) 場所
12/26: 筑波大学　総合研究 b 棟 1 階 0112 12/27: 筑波大学　総合研究 b 棟 1 階 0110 公開講義室〒305-0006 茨城県つくば市天王台 1-1-1
3) 参加費
無料
4) 発表時間、発表件数（予定）
発表時間は、1 件につき 15 分から 30 分程度。発表件数は 60 件程度を予定。
5) プログラム
参加者が決まり次第、連絡致します。シンポジウム期間中、懇親会を開催致します。

参考文献

[1] 山彦 太郎: "山彦シンポジウムの予稿スタイル", *2006* 年度第 *1* 回山彦シンポジウム予稿集, 2006.
[2] 山彦 太郎, 山彦 次郎, et al.: "山彦シンポジウムにおける活動", 日本ロボット学会誌, vol. 25, no. 1, pp. 100–110, 2007.
[3] 原 祥尭, 坪内 孝司: "学術会議用 LaTeX 2ε クラスファイル jsproceedings.cls を用いた論文執筆", *2014* 年度山彦セミナー資料, 2014.

[†1] 筑波大学 理工学群
[‡1] Undergraduate School of Science and Engineering, University of Tsukuba